

第3学年 国語科学習指導案

児童 3年 男10名 女10名 計20名

授業者 教諭 鈴木 亜紀子

特別支援教育支援員 川上 艶

1 単元名 はたらく犬について調べよう 「もうどう犬の訓練」(東京書籍 3年下)

2 単元について

(1) 教材について

本単元の主な指導事項は、C 読むこと (1) イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」及び、エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」である。言語活動は、C (2) イ「記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。」に対応する。

本教材は、3年生になって3度目の説明文である。最初の説明文「自然のかくし絵」では、段落ごとに内容をとらえながら読み取る学習を行ってきた。次の「ほけんだよりを読みくらべよう」では、事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いを読み取る学習を行ってきた。これまでの学習で、段落ごとに書かれている内容をとらえながら読んだり、書き手の意図により、事柄の取り上げ方や説明の仕方に違いがあることを読み取ったりすることはできるようになってきている。しかし、書かれている内容の中心をとらえるのに難しさを感じる児童がいる。

本教材は、働く犬の仕事や訓練の内容について、大事な言葉や文を見つけながら読み、短くまとめて要約する力をつけることをねらいとしている。順序や時期を表す言葉に着目して読むことや、中心文と具体例を区別しながら読み、書かれている内容を短く要約することを通して、盲導犬をはじめとする働く犬についてもっと知りたいことを意欲的に調べたり、書かれてある内容を要約したりするのに適した教材であると考えられる。

(2) 本単元における言語活動について

単元を貫く言語活動として、「はたらく犬紹介カード」を作成する活動を位置づける。これは、働く犬について、どんな仕事をする犬なのか、どんな訓練をするのかを資料で読んで調べ、分かったことを短い文章に要約する活動である。目的に応じて、段落ごとに大事な言葉や文を見つけながら読むことや、友達に紹介するという目的意識を持たせながら学習していくのに適した活動であると考えられる。

3 単元の目標

- 働く犬について関心を持って読み、いろいろな資料を読んで調べようとする。 【関心・意欲・態度】
- 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むことができる。 【読むこと (1) イ】
- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすることができる。 【読むこと (1) エ】
- 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣をつけることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ (カ)】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	読むこと	言語についての知識・理解・技能
・働く犬について関心を持って読み、進んでいろいろな資料を読んで調べようとしている。	・目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実や意見との関係を考え文章を読んでいる。	・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり、要約したりしている。	・重要語句や分からない言葉の意味について、国語辞典を使って調べている。

5 単元の指導と評価の計画

次	時	主な学習活動	評価規準と評価方法
第一次 つかむ	1	○働く犬についてのブックトークを聞く。 ○教師の作成した「はたらく犬しょうかいカード」を提示し、学習の見通しを持つ。 ◎働く犬について知っていることを出し合い、教材に興味を持つ。【ペア】	関 働く犬についてのブックトークを聞いたり、知っていることを話したりして働く犬について興味を持っている。 (ノート、発言)
	2	○教材文を読んで、疑問に思ったことや感想を書き出す。 ◎初発の感想を伝え、教材に対する考えを確かめ合う。【ペア】 ○形式段落を確認し、分からない語句を国語辞典で調べる。	関 盲導犬について初めて知ったことや疑問に思ったことなど、進んで感想を書いている。 (発言・ノート) 言 言葉の意味について国語辞典を使って調べている。 (ノート)
	3	○段落の構成や訓練の順序を確認し、時期や期間を表す言葉に着目して訓練の内容を読み取ることを知り、学習の見通しをもつ。	関 「はたらく犬もの知りカード」を作るための、学習の見通しを持っている。 (ワークシート)
第二次 深める	4	○意味段落二①～③を読み、盲導犬はどのような犬かを読み取り、大事な言葉や文に着目して要約する。 ○大事な言葉や文に着目して、要約のしかたを確かめる。 ◎要約に必要な大事な言葉や文を確かめ合う。【グループ】	読 大事な言葉や文を落とさずに盲導犬とはどのような犬かを要約している。 (ノート)
	5	○意味段落二④～⑧を読み、人の言うことに従う訓練の内容を読み取り、大事な言葉や文に着目して要約する。 ◎要約に必要な大事な言葉や文を確かめ合う。【グループ】	読 大事な言葉や文に着目して、事例を削ったり、言葉を補ったりして訓練の内容を要約している。 (ノート)
	6 本時	○意味段落三⑨～⑫を読み、人を安全に導く訓練の内容を読み取り、大事な言葉や文に着目して要約する。 ◎要約に必要な大事な言葉や文を確かめ合う。【グループ】	
	7	○意味段落四⑬～⑮を読み、盲導犬としてふさわしい心がまえを読み取り、大事な言葉や文に着目して要約する。 ◎要約に必要な大事な言葉や文を確かめ合う。【グループ】	
	8	○意味段落五⑯を読み、盲導犬は、目の不自由な人にとってどのような存在であるのか、自分が考えたことを書く。 ◎盲導犬が目の不自由な人にとって、どのような存在かについて、多様な考えを知る。【グループ】	読 盲導犬の訓練の内容などをもとに、盲導犬について自分の考えを持っている。 (ノート)
第三次 広げる	9	○P38 のてびきをもとに、盲導犬の仕事や訓練の内容について要約する。 ◎要約したことを読み合い、要約のよさを確かめ合う。【グループ】	読 今までの読み取りを参考に、大事な言葉や文を見つけ、短く要約している。 (カード)
	10	○P39 のてびきを参考に「はたらく犬しょうかいカード」の作り方を知る。	関 働く犬について調べることに関心を持ち、知りたいことを進んで考え、ノートに書いている。 (ノート)
	11	○はたらく犬について調べたいことを決め、大事だと思うことをまとめる。	読 調べたい内容について、大事な言葉や文を本から書き抜いている。 (ノート)
	12	○「はたらく犬しょうかいカード」を作る。	読 調べた内容を整理して、分かりやすく短く要約している。 (カード)
	13	○「はたらく犬しょうかいカード」をまとめ、「はたらく犬しょうかいカード」を作り、読み合う。 ◎「はたらく犬しょうかいカード」を読み合っ、言葉を補ったり、短くまとめたりしているかを確かめ合う。【グループ】 ○単元の振り返りを行う。	関 友達のまとめ方の良いところを探しながら読み、感想を伝えている。 (発言・付箋)

6 本時の指導

(1) 目標

人を安全に導く訓練の内容を読み取り、要約することができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◇評価
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 人を安全にみちびく訓練について、要約しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 人の言うことに従う訓練について読み取り、要約したことを振り返る。 要約名人になるための、ポイントを確認する。
見通す 5分	3 見通しを持つ。 ・㊦の段落を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の内容について要約するために、大事な言葉や文を見つけながら読む。
深める 25分	4 一人学びをする。 ・形式段落ごとに、訓練の内容に関する大事な言葉や文(中心文)を見つけ、線を引く。 5 考えを深める。 ・線を引いたところとその理由を伝え合う。 ・要約をまとめる際に大事な言葉や文が何かを話し合う。 【グループ学習】 ねらい 線を引いた言葉や文と、その理由を出し合い、考えの共通点、相違点から、要約をまとめる際の大事な言葉や文に気づく。 進め方 司会者が中心となって、考えの共通点、相違点をまとめる。 広め方 1組のグループの考えを発表し、そこから他のグループの考えを広めていく。 ・要約に必要な言葉や文を全体で確認する。	<ul style="list-style-type: none"> どのような訓練かが分かる言葉や文に線を引くようにする。 司会者が話し合いカードをもとに、順番に話すよう促す。 自分と友達の考えの相違とその理由を聞きながら、訓練の内容を要約するのに大事な言葉や文は何かを話し合う。 中心文と具体例の文を見分けられるよう促す。 発表用の用紙に書いていく。
まとめる 10分	6 学習のまとめをする。 ・大事な言葉や文をもとに、人を安全にみちびく訓練の内容を要約する。 Bと捉えるまとめ方の例文 人を安全にみちびく訓練では、「ハーネス」を取り付けて、あぶないもの前で止まったり、それをよけて進んだりすることを教えこまれます。 きけんな命令には、したがわないことも教えられます。 ・まとめた要約を発表する。 ・まとめた要約の良い点を発表し合う。 7 本時の学習を振り返る。 ・振り返りをワークシートに書き、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 2つの文で要約するように促す。 ◇大事な言葉や文を落とさずに、訓練の内容を要約している。 【評価規準】 A 訓練の内容について、大事な言葉や文を落とさずに、短くまとめたり接続詞などの言葉を補ったりして要約している。 B 二つの訓練の内容の中心文を書いている。 支援の手立て 訓練の内容を要約するのに大事な言葉や文を黒板で確認する。 ・今日の学習や学び合いについて感想を発表する。